

公開シンポジウム

所得リスクにどう立ち向かうか — 社会的包摂のための社会保障 —

主催 日本学術会議社会学委員会・経済学委員会合同 包摂的社会政策に関する多角的検討分科会・社会政策関連学会協議会・同志社大学ライフリスク研究センター・同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

日時 2010年6月5日 土曜日 13:00～16:00
場所 同志社大学(今出川校地)至誠館21号室

開会挨拶: 古川孝順 (東洋大学教授, 日本学術会議連携会員)

I 講演(13:10-14:40)



子ども手当 社会の子を社会が育てる社会に 大塩まゆみ (龍谷大学教授)

税額控除制度とは? その概要と意義・問題点 埋橋孝文 (同志社大学教授)

最低保障年金 なぜ全額税方式が望ましいか?

橘木俊詔 (同志社大学教授・日本学術会議会員)

II 討論(14:50-16:00)

司会者: 大沢真理 (東京大学教授・日本学術会議会員)

討論者: 杉村宏 (法政大学教授・社会政策関連学会協議会協議員)

武川正吾 (東京大学教授・日本学術会議連携会員)



参加申込方法



E-mailまたはFaxで, 必要事項(氏名, 所属, 連絡先電話番号, E-mailアドレス)をご記入の上, 以下の問い合わせ先担当宛, お申し込みください。

遠藤公嗣 (明治大学経営学部教授・社会政策関連学会協議会協議員)

E-mail: social2008@live.jp Fax: 03-3296-2350

* 定員(150名)となり次第, 締め切りとさせていただきます。